

県本部第105回定期大会

日時：2019年10月11日(金) 13：00～
12日(土) 12：30
会場：南相馬市「さくらホール」
議案：2020年度運動方針(案)、2020年度
一般会計・特別会計予算(案)ほか

自治労福島

自治労福島県本部機関紙

E-mail:chousa@jichiro-fukushima.or.jp

第808号
2019年(令和元年)
9月26日
福島市荒町1-21
自治労福島県本部
発行人 志賀一幸

がんばろう福島

八巻由美さん(福島市職労) 自治労本部強化拡大局長に



信任を受け、新執行部挨拶に臨む八巻由美さん(写真中央)

自治労第92回定期大会において、八巻由美さん(福島市職労)が本部中央執行委員として信任されました。なお、新執行体制の下、総合組織局の「強化拡大局長」の任に就かれました。これから自治労本部でのご活躍を期待します。

①脱原発社会の実現へ
東電は、福島第二原発の廃炉を正式決定したが、使用済み核燃料の貯蔵施設を敷地内に新設する方針を示し、知事も容認した。核燃料の県外搬出が可能なのか。周辺の住民からも新しい貯蔵施設が固定化につながり、最終処分場になるのではないかと不安の声も聞かれる。

②被災自治体職員へのメンタルヘルス対策について
今年5月に帰町した大熊町では、ほとんどの職員が避難先から通勤し、家族は避難先で生活している状況は避難指示解除

③新規採用者対策の強化
福島においても、新規採用者の組合加入率が

福島からの発言

前と変わりにない。自治体職員アンケートでも明らかのように、帰町した被災自治体でも住民の生活再建や地域振興の要となるべき職員の多くが多忙な業務に加え、遠距離通勤など依然として深刻な状態に置かれ、ストレスを抱えている。



発言する木村組織部長



川本委員長(壇上中央)の団結がんばろうで新たに決意する自治労の仲間

自治労本部は8月27日(29日)の3日間にわたり第92回定期大会を福岡市・福岡国際センターで開催した。全国から代議員、傍聴あわせて約3800人が参加し、第5次組強計画をはじめとする議案すべてが賛成多数で承認された。福島県本部の発言として木村組織部長から「脱原発社会の実現」「被災自治体職員のメンタルヘルス対策」「新規採用者対策の強化」の3点について発言(発言概要は左開み)し、本部答弁があった。また、役員選挙が行われ、新たな執行体制が確立され、八巻由美さん(福島市職)が中央執行委員に信任された。

秋葉政市さん(伊達市職労)8年間お疲れ様でした

前全労済自治労共済副本部長 秋葉政市さん(伊達市職労)が、本部特別執行委員を退任されました。2011年から8年間、自治労共済本部副本部長などを歴任されました。お疲れ様でした。



川本委員長から感謝状を受ける秋葉政市さん(写真右)

第92回定期大会

単組・職場から運動の活性化 自治労80万人回復めざす

第19回統一自治体選挙 組織内候補勝利を飾る

9月3日告示、8日投票で行われた石川町議会議員選挙において自治労組織内「渡辺みのる」町議が上位当選で4期目当選を果たした。当選の挨拶では「生活道路の整備、将来のまちづくり、福祉政策の充実の実現にむけて4期目も頑張らせていただく」と力強い決意が語られた。



志賀中央執行委員長と固い握手をする「渡辺みのる町議」



なにかとたくさんある家財。万一のために、火災共済の「家財契約」に加入しましょう。
じちろうの火災共済
全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部
全日本自治労労働者共済生活協同組合
●詳しくは所属する組合まで

当面の日程

- 10月5日(土) 県本部青年部第79回定期総会(ホテル福島グリーンパレス)
- 10月5日(土) 県本部女性部第80回定期総会(ホテル福島グリーンパレス)
- 10月6日(日) このの長人総決起集会(福島市・エルティ)
- 10月10日(木) 県本部第16回中央執行委員会(南相馬市・労働福祉会館)
県本部第5回役員選考委員会(南相馬市・労働福祉会館)
県本部自治体議員連合総会(南相馬市・労働福祉会館)
- 10月11日(金) 県本部第105回定期大会(南相馬市・さくらホール)～12日(土)
- 10月12日(土) 県本部第1回単組代表者会議(南相馬市・さくらホール)
- 10月23日(水) 県支部共済推進委員会(ホテル福島グリーンパレス)
- 10月25日(金) 連合福島第32回定期大会(ホテル福島グリーンパレス)
- 10月31日(木) 福島県議会議員選挙告示日
- 11月10日(日) 福島県議会議員選挙投票日

第19回福島県議会議員選挙

自治労組織内候補予定者

南会津郡選挙区

わた なべ ひで あき
渡部 英明



「停滞」から「躍動」へ
南会津郡の地方創生と人口減少に挑戦

経 歴

1966年(昭和41年)11月生まれ(52歳)
1985年(昭和60年)3月：福島県立会津高等学校卒業
1987年(昭和62年)4月：田島町(現南会津町)役場採用
2019年(平成31年)3月：南会津町役場退職(32年間在職)

- 南会津郡PTA連合会長・福島県PTA連合会総務委員長、監事・日P評議員
- 日本赤十字社救急法指導員・幼児安全法指導員・防災ボランティア地区リーダー
- 防災士
- 自治労福島県本部書記次長
- 福島県市町村職員共済組合理事
- 福島県労働福祉協議会南会津地区会長
- 職業紹介責任者
- 福島県平和フォーラム事務局長
- 連合福島南会津地区連合会議長
- 南会津町特別職報酬等審議会委員

私の政策

- 産業の育成と人口減少抑制
- 地域の皆様と定期懇談会を開催
- 地域に根ざした教育の振興
- リノベーションによるまちづくり
- 地方創生の推進
- 防災・減災のための体制確立
- 住んでよかったと思える地域づくり

福島市選挙区

なが ひと
このの 長人



安心いきいき福島

経 歴

1955年4月22日(64歳)
1974年(昭和49年)3月：福島県立福島商業高等学校卒業
1977年(昭和52年)3月：福島県立総合衛生学院卒業
1977年(昭和52年)4月：福島県入庁(県立会津総合病院勤務)
2010年12月：福島県立医科大学付属病院退職

- 2011年11月～：福島県議会議員(二期目)
- 1991年11月～2003年1月：自治労福島県職員連合労働組合医科大学支部書記長
- 2005年1月～2010年3月：自治労福島県職員連合労働組合医科大学法人労組執行委員長
- 2007年4月～2010年3月：自治労福島県職員連合労働組合書記長
- 2010年4月～2011年10月：自治労福島県職員連合労働組合副中央執行委員長

私の政策

- 憲法の理念を県のすべての政策に
- 市民の生活と福祉を守る公務・公共職場の体制拡充
- 安心して子どもを産み育てるための環境づくり
- 教育予算の拡充でゆきとどいた教育
- 農業を守り、地域を守る
- 医療や福祉を大切にする福島県に
- 地方分権と人件費の確保
- 中小企業支援と財政確保